



車内の金城学院大学

145限目

「ソーシャルビジネス論」

「社会課題を解決する「コレクティブ・インパクト」？」

〔社会課題解決の枠組み〕

今、様々な社会課題や環境課題を解決する動きが活発化していますが、複雑な課題を個々の力だけで解決することは難しく、「コレクティブ・インパクト」という考え方が重視されています。これは、企業、大学、自治体、NPOなど立場の異なる組織が協力して課題に取り組む枠組みで、次の5つの要素を満たす必要があります。それは、「共通のビジョンを持つこと」「成果を測る共通の指標を持つこと」「互いの強みを生かし合うこと」「常に円滑なコミュニケーションがあること」「活動全体をサポートする組織があること」ですが、あくまでひとつの課題を解決するために互いの強みを生かす枠組みであり、個々が持つ別々の課題を解決するために手を組むものではありません。今、様々な課題がSDGsにも掲げられていますが、それらを解決するためにも、「コレクティブ・インパクト」の考え方が一層重要になるのです。

広い視野を持ち、新しい手法で課題に向き合う。

それが国際情報学部 国際情報学科 グローバルスタディーズコース。

強く、優しく。



金城学院大学